



月刊 はあとふるあたご



第41号
【発行】
2009年1月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



チームビルディング...

ゲーム等の疑似体験を通して、メンバー全員で「学び」や「気付き」を話し合い、チームの思いを一つにして進んでいける組織作り

宿泊研修で行われたチームビルディングの様子 (胎内ロイヤルパークホテル)【関連記事は8ページ】

目次

年頭のごあいさつ・・・・・・・・・・	2	宿泊研修に参加して・・・・・・・・・・	8
事業所だより・・・・・・・・・・	3	伊東先生のコラム 第40回・・	11
自分で食べるを応援します！第7回・・	5	新年の抱負・・・・・・・・・・	12

年頭のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。新春を迎え平素のご厚情を深謝し皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

さて昨年も中国製冷凍ギョーザによる中毒事故、中国産ウナギの産地偽装、事故米の食用転売など、食の安全を脅かす事件や事故が後を絶ちませんでした。また、茨城県土浦の JR 駅での 8 人殺傷、東京・秋葉原での無差別 7 人殺害、大阪の個室ビデオ店での放火や幼い子どもが犠牲となる痛ましい殺人事件なども相次ぎました。私は東京・秋葉原の殺害事件の数週間後、現場に立ち寄る機会がありましたが、忙しく行きかうビジネスマンたちの傍らで、じっと献花台に手を合わせる多くの若者達の姿に、暫し心が救われる思いがしました。

一方9月に米国で発生した大手証券会社リーマンの破綻が引き金となった世界的な金融危機は猛烈な円高株安を誘引し、大企業から中小企業まで業績を直撃、とどまるところを知らない景気後退は未曾有の極めて深刻な雇用問題を引き起こしています。

わが国の介護業界における介護職の人材不足も大きく報道で取り上げられました。きつい仕事のわりには報酬が低いことなどを理由に介護職を離れる人が多く、人手不足による介護現場の疲弊と混乱は深まる一方です。国もこの問題を深刻に受け止め、介護職の待遇改善などに取り組む姿勢を見せてはいるものの、少子化の進展と若者の介護職離れが同時進行しているなど課題は山積しており、残念ながら速やかな解決は望むべくもありません。

こうしたなか、弊社では、職員の教育研修に力を入れて質と意識の向上を図っており、また、職員の心の健康にも注目して「メンタルヘルスケア」を推進するなど、様々な取り組みを行っています。

はあとふるあたごで働いているすべての職員が、働きがいを感じ、将来に希望を持って、いきいきと安心して働き、お客様お一人お一人に、心のこもったサービスをお届けし続けられるよう、全社を挙げて取り組んでおりますのでご安心ください。

私達は、つねに皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、本年も、心を新たに、お客様の視点でサービスを捉え、職員の質、サービスの質の向上に取り組む、職員一同努力してまいりたいと存じます。



株式会社はあとふるあたご 代表取締役

木村 淳

デイサービスセンター柳都大橋

デイサービスセンター柳都大橋では三味線と民謡で大賑わいでした！



三味線を、もう何十年とやっていたらっしゃる方の演奏にあわせて民謡を習っている職員がマイクで歌いました。

柳都のお客様は、佐渡出身の方が多く来ていらっしゃる「佐渡おけさ」のときには皆さんの前で、本場の踊りを見せて下さいました。

「昔はもっと踊れたんよ」とおっしゃっていました

が、手の振り、足の動きなどおみごと！！とってもお上手でした。「アリヤサ～、サ～、サ～ッ」と声がそろって大合唱でした！

その他、柳都の定番「花笠音頭」（いつもながら、ヤッショ～マカショ～、で盛り上がります）や「黒田節」などに加え、新津の民謡「新津松坂」を新津からお嫁にきた職員が踊ってくれて、大盛り上がりでした！

お客様も「あの人三味線上手らねえ～」「久しぶりに民謡もいいね！」と喜んで下さいました。

デイサービスセンター柳都大橋

渡邊 恵

電話 025 - 228 - 5010 FAX 025 - 228 - 3335



グループホーム五泉

私たちのグループホームでは、毎週金曜日に専門のPTの方にホームへ来ていただき、数名のお客様が歩行訓練を行なっています。

最初は膝の痛みのため歩くことができなかった方も、リハビリを継続されることで歩くことができるようになりました。

今ではお客様の方が、「先生は何曜日に来るんだったっけ？」と楽しみに待っておられます。



今でも痛みはあります

が、シルバーカーを押しながら、一生懸命歩こうとされている姿を見て、私たちにもできる事は協力しながらお客様と共に歩いていこうと思っています。



グループホーム五泉

泉 恵子

電話 0250 - 41 - 1610 FAX 0250 - 41 - 1611

グループホーム三条

音楽と笑顔

12月7日に、はあとふるあたごスタッフと有志の皆様によるユニット「ミニモニィ」がやってきました。

季節に合わせた音楽や皆様の知っていらっしゃるような懐かしい歌を披露してくださったりして、お客様も一緒に口ずさんでいらっしゃいました。



素敵な音楽とクリスマスイメージたっぷりの衣装。そして愛らしい子供達の笑顔と笑い声。

相乗効果でお客様の笑顔もいつもより沢山拝見できました。

「ミニモニィ」は今後ももちろん活動が予定されているそうですので、次のステージを心待ちにしております。

グループホーム三条

難波 淳

電話 0256 - 36 - 5555 FAX 0256 - 36 - 5556

居宅介護支援課

心温まるちょっといい話・・・



私の担当しているお客様の M 様は毎月ショートステイを2泊3日利用されています。本当はショートステイには行きたくありません。介護されているお嫁さんも十分理解しています。しかし、ショートステイを利用しなければ、介護者のお嫁さんは用事が足せない状況です。そんな中ある時、お嫁さんはショートステイに持っていくカバンの中に「おばあちゃんへ、いつもありがとう。ショートステイにいつまで来てください、ごめんね。」と書いた手紙を入れたそうです。その後、M 様はショートステイから帰宅すると、お嫁さんに「こんなお手紙をもらえて、嬉しかったよ。」と、とても嬉しそうな表情で言われたそうです。

わたしはこのお話を聞かせて頂き、介護する人・介護される人との関係の中で「ありがとう・ごめんなさい」が言えることの大事さや、手紙というカタチで伝える気持ちの温かさを改めて感じました。介護だけではなく普通の人間関係においても、「ありがとう・ごめんなさい」という言葉や、時には気持ちを「手紙」というカタチで、伝えていきたいと思いました。とても心の温まるお話をありがとうございました。



居宅介護支援センター河渡本町

南 洋子

電話 025 - 250 - 3002 FAX 025 - 250 - 3011

自分で食べるを応援します！第7回

「ユニバーサルデザイン」

株式会社コラボ 代表取締役社長

秋元 幸平



握る力が落ちたり手に怪我をして上手にお箸を使うことが難しくなった方むけの2本がバネでつながりバラバラにならない「楽々箸」シリーズが好評です。バネの強さやデザイン・耐久性など大学や施設の専門家のご意見をうかがい開発しました。ところが思わぬ所でも喜ばれています。それは、はじめて日本食を食べる外国人です。先日は老舗の天ぷら屋さんが30膳一度に購入して下さいました。天ぷらやおすし、お蕎麦をナイフやフォークで食べられませんね。やっぱりお箸ですが、使いこなすにはとても訓練が必要な食器具です。「楽々箸」は訓練はいらずにだれでも簡単に使えます。この箸は、使う人の性別・年齢・国籍を問わず簡単に安全に使うことが出来るユニバーサルデザイン商品として専門家に評価されています。ただし、あまりに簡単使えるので、お子様のお箸の訓練用には使えません。手先の器用な日本人になれませんから。

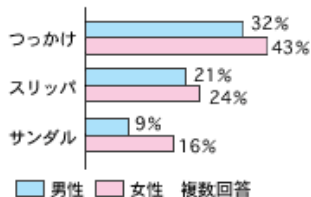
福祉用具課

家の中でスリッパ履きが危ないって本当？

つっかけタイプの履き物が危ないのは家の中も外も同じです。特に高齢者は室内でのスリッパ履きが、思わぬ転倒の原因に！

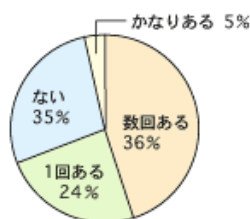
つっかけは転倒・転落の原因になります。

つっかけ、スリッパ、サンダルは要注意です。



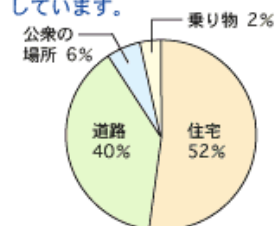
記憶に残る転倒・転落のうち、2人に1人は履き物が原因。

事故数は女性の方が男性を上回っています。



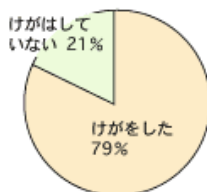
転倒・転落の5割は住宅で起きています。

外出先よりも自宅が多く発生しています。



1年間に転倒・転落した高齢者の4割は履き物が原因。

履き物に注意すればかなりの事故が防げます。



(徳武産業ホームページより)

快適に暮らしていけるように履物選びにも注意が必要です。履物選びをお手伝いいたします。お気軽にご相談下さい。

福祉用具課 小笠原 祐司

福祉用具レンタル・販売/住宅改修のお問合せは...

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新発田 0254-23-1173

訪問介護ステーション

風邪をひきやすい人と、滅多にひかない人がいます。体質や生活環境にもよりますが、毎日の食事や暮らし方に影響されることも大きいそうです。

風邪の原因の約90割がウイルス感染によるものと言われています。体力や抵抗力があればひかずにすみますし、たとえひいても早く回復することができます。

風邪を寄せつけないポイントは

- 『**栄養**』 良質のたんぱく質をきちんと採って、基本的な体力をつけておく事が大切です。緑黄色野菜に含まれるビタミンAを多く採ると、鼻やのどの粘膜を強くする効果があります。
- 『**休養**』 体が疲れて体力が落ちていると、ウイルスが細胞内に入り込み易くなり、様々な風邪の症状を引き起こしてしまいますから、過労や睡眠不足を避け、体力を温存するようにします。
- 『**湿度**』 暖房で温められた室内は空気が乾燥しがちになります。湿度が低いと呼吸器の粘膜も乾き、タンや鼻水などの分泌物が粘っこくなって出にくくなります。



冬の風邪ウイルスのほとんどは乾燥好きで、湿度が高いと感染力を失ってしまいます。体にやさしい湿度は60%～70%です。加湿器をつけたり、室内に洗濯物を干すなどして湿度を保ちましょう。ウイルスがいっぱいで、室内の換気も時々はしましょう。

訪問介護ステーション 荒木 幸子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター坂井東



11月18日は手作りギョーザの日。お客様とボランティアさん、職員が一緒になりギョーザ作りに挑戦しました。ギョーザの形をきれいに作ることは難しく、タネの量が多くなって皮が破けたり、ヒダを作ることに悪戦苦闘...

油で熱したホットプレートの上に様々なギョーザが並べられました。お客様の目の前で焼いたギョーザは

“ジュー”とおいしそうなお音を立てており、お客様は「まだかねえ～」、「いいにおいだわ」とギョーザの出来上がりを今か今かと心待ちにされていることがとてもよく伝わってきました。



ギョーザが完成し、お客様にお配りすると「おいしそうだねえ～」と言われ、笑顔が溢れました。できたてのギョーザを「熱っ、熱っ」と言いながら召し上がられました。ギョーザのいいにおいに包まれたホール内。下膳のときには「おいしかったわ。ごちそう様。」と言われ、みんなで協力して作ったギョーザにお客様一人一人が大満足でした。

デイサービスセンター坂井東 本間 葉月

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

デイサービスセンター河渡本町



デイサービスセンター河渡本町は、お陰様で、2008年11月で5周年を迎えることができました。そこで、11月7日に、いつもお世話になっている方々をお招きして、5周年記念感謝祭を開催させて頂きました。

各テーブルには、厨房さん手作りのお弁当やデザートを用意して、召し上がって頂きながら、式を進めさせて頂きました。

まず、スライド上映を行いました

た。開設当時から現在まで行ってきたイベントの様子、現在の一週間の流れをご覧頂き、河渡本町の様子をより知って頂くことができたのではないのでしょうか。

次に、健康支援トレーナーの皆川による健康支援体操を体験して頂きました。今話題の、「崖の上のポニョ」の主題歌などの音楽に合わせて、皆様に楽しく体を動かして頂き、たいへん盛り上がりました。



最後に、お客様の代表として、本間様よりご挨拶を頂きました。

デイサービスセンター河渡本町では、これからもお客様とのふれあいを大切に、より満足度の高いサービスをご提供できるよう努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

デイサービスセンター河渡本町

田邊 真由子

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター城北町

「こんにちわー！」と、元気なあいさつでセンターに入って来られた二葉小学校5年生のみなさんを、お客様は拍手で出迎えました。

12月3日、二葉小学校の生徒さんたちと楽しい午後のひととき。生徒さんたちは、いくつかのグループに分かれて、お客様のテーブルにつきました。コマ回しを見せてくれた男の子たち。その場でおお客様の似顔絵を上手に描く女の子たち。お客様はもらった似顔絵をわたしたちや他のお客様に満面の笑顔で見せてくださいました。

すばやくカルタを取るお客様の姿に「すごい！」とびっくりする女の子たち。照れくさそうに微笑むお客様。中でも盛り上がったのが、風船バレー。生徒さん相手に、お客様は本気モードです。必死に風船を追い、ラリーが続きます。会の終わりには、歌の合唱を聴かせてくれました。

お客様とどうしたら楽しいふれあいができるかを何日もかけて考えてくださった二葉小学校のみなさん。ありがとうございました。

こうして、大きな拍手とともに、温かなふれあいの時間の幕が閉じました。



デイサービスセンター城北町

武田 由紀

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

胎内 宿泊研修に参加して・・・

今回、初めて宿泊研修に参加させて頂きましたが、チームビルディングによるグループワークを通じて、日頃の仕事に生かせるようなヒントを楽しみながら勉強させて頂きました。

まずは、自己紹介を行いました。次にグループメンバーの共通点は何か？コミュニケーションを取る為にどの様にしたら良いか？をグループで話し合いました。メンバーそれぞれ違う仕事をしているので、日頃どのようなコミュニケーションの取り方をしているのか意見を出し合い話しました。

目隠しをしていない人が目隠しをしている人に指示を出し、ロープで図形を描いています。



【私達のグループの結論】

相手の話をよく聞き、理解する。

知り得た情報を正確に文章にまとめ、他の方に伝え情報を共有する。

時にはリーダーが的確に指示を出し、チームで協力し、違う角度からよく見て、ベストな方法を考え話し合う。

今回の研修でも、自己紹介や共通点を具体的に話題に出し、お互いを理解しあった事で、後のグループワークの早さに影響する事がよく理解でき、また、体験したことで良い経験になりました。

今回の研修は職種を越え、色々な職員とコミュニケーションが出来て、とても楽しい時間を過ごすことができましたし、顔は知っていても話したことの無い職員と親睦を深めた事で、今後の仕事も円滑になると感じました。お客様に対しても、この体験を生かしていきたいと思えます。

訪問介護ステーション 川崎 裕子

胎内宿泊研修... 3班に分けて1泊2日の宿泊研修を行い、延べ112名の社員が参加しました。



デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

去る11月26日腹話術をしてくださるボランティアさんが来所してくださいました。

誰が、どのようにして声を出しているのか、お客様は不思議な顔をして見入っておられました。また、「あら、かわいいわねえ」「お譲ちゃん、こんにちは」など、ニコニコしながら人形に話しかけている方もいらっしゃいました。最後の、人形との握手会では皆さんが満面の笑みで人形に触ったり、話しかけたりしている姿が何とも微笑ましい光景でした。



また12月3日には、「萌えの会」の皆さんが再び来て下さり、踊りを披露して下さいました。なんと、14名の大人数です！素晴らしい踊りに皆さん圧倒されました。力強い踊りから、しなやかな踊りまで5曲披露して下さい、アンコールにも応えて下さいました。お客様はたくさん元気をもらったようです。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 高橋 裕子
電話0250-62-8888(ショート)0250-62-8886(デイ)
FAX0250-62-8887(デイ・ショート共通)

デイサービスセンター松浜

仮装レクで大盛り上がり！

デイサービスセンター松浜では、恒例の仮装レクで盛り上がっております。

「崖の上のポニョ」やディズニーのテーマソングに乗せて、お手玉や豆絞りのはちまきを回します。ただ回すだけではなく、豆絞りを首に縛り、手をパチンと叩いて次の人へ送ったり、割



り箸でおはぎに見立てたお手玉をお皿の上へ3つずつ置くなど、お客様はいつ曲がストップするかと汗をかきかき必死で順番を回します。



自分の番で曲が止まると松浜のお客様は皆、仮装を快く引き受けてくださり、他のお客様の笑顔誘って下さいます。大きなまん丸メガネをかけサンタクロースの帽子をかぶったり、昔の女学生の頃を思い出しい長い三つ編みをつけてみたり、はたまたロングヘアをかぶりレゲエ歌手さながらのお姿を見せて下さる方もいらっしゃいます。仮装される方もされない方も笑いが溢れる楽しいひと時を過ごすことができます。

そんな笑いが絶えないデイサービスセンター松浜はお客様の笑顔の素となる楽しいレクレーションを日々企画しております。

デイサービスセンター松浜

古俣 亜沙子

電話 025 - 255 - 7701 FAX 025 - 255 - 7705



デイサービスセンターさかえ



11月23日の昼下がり、デイサービスセンターさかえに、ある男性が突然やってきました。キーボードと尺八を持って…!!そうです!ご存知の方もいらっしゃるはず!

デイサービスセンター坂井東などで音楽療法を行っている高木寛です!お休みなのに「近くまで来たから」と訪問してくれたというわけです。

さてさて、お客様の反応ですが「あの人誰?初めて見る顔だわ」「どこから来た人だね?」と興味深々なご様子。以前、『はあもにい』スペシャルライブでご覧になった方もい

らっしゃいますが、ほとんどのお客様は初対面です。そして午後2時、急きよ、音楽療法が開催されました!!

「赤とんぼ」など童謡や唱歌を中心に歌ったり、昔の出来事を一緒に語り合いました。面白いトークに、お客様は大声で笑われ、中には会話が止まらなくなられる方も…(笑)最後は得意の尺八で演奏。とても素晴らしい演奏で、お客様もその場に居た職員も皆、聴き入ってしまいました。突然の訪問でしたが、お客様はとても喜ばれていました。



高木さん、お休みのところ、ありがとうございました!また次回も楽しみに待っています。

デイサービスセンターさかえ

角田 夕子

電話 0256 - 45 - 7735 FAX 0256 - 45 - 7739

デイサービスセンター横越

11月18日の昼食は餃子でした！



この日はお客様にもお手伝いいただき、餃子の具を皮で包んでいただきました。今まで主婦をされてきた方ばかりなので、慣れた手つきで手際よく作られていらっしゃいました。

「やった事ないわ。」と、言われたお客様もチャレンジしてくださいましたが、なかなか上手く出来上がりましたよ。



ホットプレートで焼き、その香ばしいにおいがホール内に広がり、お待ちかねの昼食の時間...「おいしい！！」と、会話が弾みながらの食事でした。



デイサービスセンター横越 大久保 友恵
電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

グループホーム新津

家族会共催で一足早い「おもちつき」をしました。

昨年は1月に実施しましたがお天気を考慮して、そして秋の新米で...という事で11月22日に実施する事にしました。前日まで生憎の悪天候続きに家族会の方、スタッフ一同「11月に予定した意味が...」と当日をしきりと心配しましたが、当日は何とか晴れてくれました。そんな中、ご家族の協力を得ながら準備も順調に進み、お孫さんも交えての「おもちつき」となりました。こんな時になると、お客さまの隠された力を発揮してくれる場面の数々を垣間見る事ができるのが実は私の楽しみでもあります。ペースの早い食べ方に「大丈夫かなー」とハラハラしたり、お代りとお立ち上がってくる人。いつも、車イスか



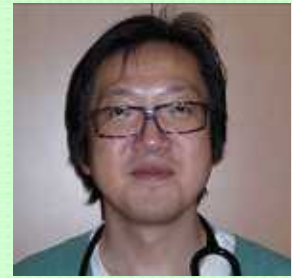
ソファーに過ごされている方も職員の支えで腰を伸ばし、杵を持つと「よいしょ！よいしょ！」と自発的に杵を持ち上げて、皆の拍手をもらって、共に楽しんだ一日でした。「あ～楽しかった！」



グループホーム新津 渡邊 やよひ
電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

伊東先生のコラム第40回

「猫はあの世までお供する。」



丸山診療所所長 伊東浩志

私は猫や犬が大好きです。

私の往診先には右目と左目の色の違う猫が居ます。目の色の違う猫は幸せを運ぶそうです。

我が家でも以前、猫を飼っていました。アメリカンショートヘアという種類の猫で、五泉出身の猫です。五泉の人から親子猫としてもらい受けました。私の母がそれはもう可愛がり、いつでも母のひざの上でゴロゴロしていました。ある日を境に、猫は母から片時も離れなくなりました。恋焦がれるような表情でじっと見つめていたそうです。「この猫、最近おかしいよ。私をじっと見つめているし、トイレの中までついて来るんだよ。」

そう、それから1ヵ月後に私の母は椅子から崩れ落ちるように倒れ急死しました。

猫はお通夜の晩、母の足元で丸くなりじっと動かないで通夜に集まる人の邪魔をすることはありませんでした。じっとそこに居ました。葬儀が終わり母は小さな箱に入って帰ってきました。猫は母の寝ていた場所で1週間丸くなっていましたが、急に立ち上がると出て行きました。それからもう二度と帰ってきませんでした。家族は猫を探し回りましたがどこにも居ませんでした。

猫は飼い主の死を察知した上に、あの世までお供をしたらしいです。



～平成21年 新年の抱負～

デイサービスセンター城北町 竹内 啓泰



入社当初はまだ十代だった私も、今では二十代となり、仕事に対して楽しいだけではなく、真剣に積極的に取り組めるようになりました。今年、今以上にお客様に楽しんで過ごしていただけるような企画を考え、ご提供していきたいと思います。今は、お客様から「たけちゃん」と愛称で呼んでいただくこともあります。さらにかわいがっていただけるよう、お客様おひとりおひとりを大切にしていきたいです。

デイサービスセンターさかえ 高野 理香



デイサービスセンターさかえに勤めさせていただいて、早 10 ヶ月に入ろうとしています。

久しぶりの現場で戸惑っていましたが、先輩方やお客様がとても優しく接して下さりここまでやっていくことが出来ました。今年も宜しくお願いします。

グループホーム五泉 牛腸 佑子



今年は私にとって変化がたくさんあった一年だったと思います。初めて社会人になり、たくさんの方と出会う事ができ、とても充実した一年だったと思います。新年もお客様やはあとふるあたごの職員など、人との繋がりを大切に、今年以上に楽しんで働けるよう努めていきたいです。

ショートステイ水原 長谷川 進



私は入社して1年目で、仕事があり早くないので、介護技術を上げていきたいです。早さと正確さを身に付け、お客様とコミュニケーションをとる時間を作っていきたいです。また、自分の体調管理。昨年は腰痛、発熱で迷惑を掛けた時期があったので、食事睡眠をしっかりとって仕事にのぞみたいです。

福祉用具センター新発田 吉村 正



入社して2年目を迎えました。今年、何事も素早く対応することと、常に利他的な立場で行動できるよう、「配心即行」という言葉をモットーに日々の業務に取り組んでいきます。本年もよろしくお願い致します。

居宅介護支援センター横越 山口 和子



早いもので横越の居宅支援事業所も4年目を迎えます。まだまだ新米ですが、ご利用者様が住み慣れた自宅で、安心して暮らすためのお役に立てるよう努力したいと思います。今年も一年よろしくお願い致します。

訪問介護ステーション 真角 有紀子



在宅においてお客様がその方らしく過ごせる為に安心と信頼のおける充実した訪問介護を心掛けていきます。

松鶴荘 北村 絵里



この度は、ご縁があって、はあとふるあたごに勤める事となり2ヶ月が経ちました。今年の抱負は笑顔があふれる現場作りを心掛けて楽しく仕事が出来ればと思っております。

総務部人事課 廣川 江里香



今年も、はあとふるあたごの縁の下の力持ちとなるよう、お客様のために、職員のために元気印で頑張ります！

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先> はあとふるあたご総務部 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX025-228-4000
<編集委員> 南洋子、中山卓、荒木幸子、富樫亜希子、岡田健、古野間信介